

北九州市民の会ニュース



総選挙で勝利し、新しい政治を実現しようと決意を固めあう(左から)社民・福島、共産・志位、立民・枝野、れいわ・山本の各氏=8日、参院議員会館



小倉駅前でする各界代表者の皆さん

市民連合と4野党が共通政策で合意 命守る新政権を樹立しよう!

日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組の野党4党と「安保健法の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は8日、次の総選挙で自公政権を倒し、命を守る新しい政権の実現をめざす野党共通政策に合意しました。共産党の志位和夫委員長、立民の枝野幸男代表、社民の福島瑞穂党首、れいわの山本太郎代表が共通政策の提言書に署名しました。

総選挙で野党各党が野党第1党を含めて共通政策を結び、政権交代を目ざす初めての闘いとなります。

野党共通政策の提言(骨子)

衆議院総選挙における野党共通政策の提言

—命を守るために政治の転換を—

- 1、憲法に基づく政治の回復
- 2、科学的知見に基づく
新型コロナウイルス対策の強化
- 3、格差と貧困を是正する
- 4、地球環境を守るエネルギー転換と
地域分散型経済システムへの移行
- 5、ジェンダー視点に基づいた
自由で公平な社会の実現
- 6、権力の私物化を許さず、
公平で透明な行政を実現する

いのちをまもる緊急行動 全労連などが呼びかけ

9月5日(日)、全労連などの呼びかけで、「医療・介護・保健所の削減を止めて!いのちをまもる緊急行動」が全国各地で取り组まれました。北九州でも北九州地区労連、健和会労組、北九州社保協、公益財団法人健和会などが実行委員会を作りコロナ禍のなか40人を超える参加があり大きな成功を勝ち取ることが出来ました。

緊急行動は小倉駅ペDESTリアンデッキ周辺で取り组まれ、健和会労組安達委員長の司会で、永富地区労連議長、健和会労組の理学療法士、公益財団法人健和会の代表、年金者組合代表、長崎クリニック院長のメッセージ、北九州市で働く保健婦から寄せられた現状を訴えるメッセージなどが次々に紹介されました。

また、この行動に政党から日本共産党の荒川市議、大石市議、出口市議、永井市議が参加しました。荒川議員が日本共産党を代表して国政・市政の問題点などを報告しました。いのちをまもる国会請願署名台も設置され、小倉駅を利用する多くの市民が署名にこたえてくれました。約1時間の行動でしたが、参加者全員暑さに負けず頑張りぬきました。

(堀田和夫FBより)

第62回 福岡県母親大会

オンラインでつなぎ、大成功



スムーズに進んだ、初めてのオンライン大会

とは！」講演は、3論点についてスライドを使用してのわかりやすく「なっとく！」のお話でした。

- ①なぜ政治は私たちに遠く感じられるのか
- ②野党はだらしない？野党は反対ばかり？
- ③私たちにできること

9月12日(日)、第62回福岡県母親大会が開催され、ウエルとばたをメイン会場にして、県下206か所をオンラインでむすび、600名の参加で大成功を収めました。

基調講演は、上西充子教授(法政大学)による「政治を変えるために、私たちに出来る不断の努力

大会は、軍事拡大を許さず、平和で安全な福岡県・日本を求める特別決議と大会宣言を満場の拍手で採択しました。

最後に運動交流として、6団体の素晴らしい活動報告が動画で紹介されました。

第41回 福岡県自治体フォーラム

10/24(日) オンライン・ZOOM開催へ!

開会 13時、閉会 16時
コロナ禍・コロナ対策編、お見舞い申し上げます。西南大学が、コロナ禍でお借りできなくなり、ZOOMを利用する3ヶ所・5会場に分かれてのオンラインで開催します。ただしオンライン上の定員は100名ですので、インターネットで、早めにお申し込みください。なお各会場ともこれと別にインターネット未利用の方を中心に、若干名の会場への直接参加も、研究所事務局で受け付けます。なお記念講演のみは、研究所のホームページからYouTubeでもお伝えします。詳細は今後、所報やホームページ(<http://jitiken.jimdo.com>)でもお知らせします。公益社団法人 福岡県自治体問題研究所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-19-3-508 TEL: fax 092-472-4675 E-mail:jiti@ked.biglobe.ne.jp <http://jitiken.jimdo.com>

主催者挨拶(情勢解説もかねて) 石川捷治・代表理事(九大名誉教授)

記念講演「明治からの女性解放運動」 スライドも使用
…伊藤野枝を中心として」 矢野寛治・映画評論家
会場・A.福岡県自治体問題研究所
1948年大分県中津市生まれ、元博報堂コピーライター、遺評家、著書「普通のコピーライター」(共著)「なりきり映画考」「回想少年」「反戦映画からの声一あの時代に戻らないために」(伊藤野枝と代筆) (第27回地方出版文化功労賞奨励賞受賞)

- 分科会名 講師・報告者 会場
- ① コロナ禍と自治体・行政のあり方 会場・B.福岡県労連(自治労連)
◎「コロナ禍でのデジタル庁の発定から見えるもの」・懸谷 一(県労連副議長)
◎「コロナ禍の今、進む行政の空洞化」・羽田野盛仁(研究所事務局次長)
*福岡県議会からの発言もご紹介しています。
 - ② 災害とまちづくり 会場・B.福岡県労連(自治労連)
◎「20年の大牟田水害と今後の課題」・栗原敬幸(大牟田市・防災危機管理室室長)
◎「17年九州北部豪雨・朝倉からの報告」・片井克美(新建築家技術者集団・福岡支部)
◎「21年熱海・土石流問題を考える」・多賀直恒(九大名誉教授)
 - ③ 歴史認識問題と戦争責任 会場・A.福岡県自治体問題研究所
◎「西ドイツの戦後処理に学ぶ」・星乃治彦(福岡大学名誉教授)
◎「なぜ福岡に平和資料館か」・堀田広治(福岡市に平和資料館の設置を求める会共同代表)
 - ④ 今日の中国問題をどう見るか 会場・C.日中文化センター
◎「中国の覇権主義的行動の背景と現在」・星野信(日中友好協会全国常任理事・福岡県連副理事長)
 - ⑤ 特別講座・過去の映画作品から考える日本とヨーロッパの女性史 会場・A.福岡県自治体問題研究所
講師・矢野寛治(映画評論家)・取り上げる映画は今井正「にがりえ」、新藤兼人「楳図」、フェリーニ「道」、ルネ・クレマン「居酒屋」、豊田四郎「雁」、溝口健二「浪華悲歌」など。

<参加費> テキスト代として、1000円を会員の可能な方に現金いただく。10/14に発送予定の所報と「住民と自治」誌に同封して全員に配布。(このテキストを見ながらオンラインでの講演・報告を視聴、1000円の送金をお願いを振替用紙同封で行う) 会員外の申込者には参加費として1000円下記口座入金後に郵送。テキストは研究所ホームページにも公表。
<会場の住所・電話> 記念講演と③④分科会 福岡県自治体問題研究所 (092-472-4675、福岡市博多区博多駅前1-19-3 博多駅前ビル 508)、①②分科会 福岡県労連 自治労連 (092-414-1407、福岡市博多区博多駅前1-9-8 ケイ・アビビル 201)、⑤分科会 日中文化センター (092-761-0604、福岡市中央区渡辺通2-8-23 樋口ビル3F)
<追記> コロナ禍の終余曲もお見送りますので、研究所としては無理をしない形で、細心の注意を払って開催したいと思います。

<オンライン参加登録先> 参加登録先 jiti@ked.biglobe.ne.jp
お名前 携帯番号
参加申し込み分科会番号
送金先 ①郵便振替口座 01780-7-31231 (郵便局以外からは 9900-179-0001780-7-31231)
②福岡銀行・博多駅前支店 1802288 名義いずれも福岡県自治体問題研究所

北九社保協通信

報告・資料集 2021年8月号
8月31日 事務局発行

「コロナ電話相談会(第9回)」

政府のコロナ対策と感染急拡大に寄せられる不満と不安

今回も10時から20時まで対応

9回目となる「コロナ災害を乗り越える」なんでも電話相談会を8月21日(土)に実施しました。前回から20時までの延長対応でしたが、17時以降も相談電話が殺到したこともあり、今回も20時まで延長して相談を受けることになりました。残念ながら当日は地元マスコミ取材はありませんでしたが、全国放送のTVニュースやラジオ、SNSでの相談会を知った方からの相談電話が相次ぎました。やはり17時以降も電話が鳴りやまず20時終了時点で32件の相談をうけました。

専門家の協力あつての電話相談会
この相談会は昨年の4月から継続して取り組んでいます。これまで毎回、社保協加盟団体の各専門家に相談員として参加協力して頂いているおかげです。弁護士、司法書士、MSW、労働、民商、生健会など当初より多岐に渡る相談を想定して体制をとってきましたが毎回、多くの方々に協力いただき本当に心強いきりです。

感染対策にも万全を期して
コロナ禍の中の相談会ということもあって、相談者の防疫には気を使っています。三重を避けることは勿論、検温に消毒や換気、万が一の緊急連絡先シートなどこの場所から感染者が出たら二度と相談会が実施できない位のつもりで対策を講じています。そんな中、窓は開けるため夏は暑く冬は寒いという過酷な条件下でも真摯に相談に応じる皆さんには頭が下がります。

借金はな(給付)支援を求める困難者
今回の相談が多かったのが個人の方では「この間、支援金や社協の貸付で何とか生活してきたが、もう限界。借金が減るので追加借入は出来ない。受給できる給付金はないか?」事業者からは「持続化給付金や家賃支援金も受けた。貸付も借り切った。これ以上、借金は



毎週、相談員として協力している各加盟団体の皆さん

無理。新たな給付制度を紹介してほしい。」といったこれ以上の負債を抱えることへの不安な相談が目立ちました。社協の貸付にしてみてもいざれ償還が始まります。その時に条件を満たせば返済猶予や免除もありますが、全員が該当するわけではありません。国や自治体は早急の心配もあるため主治医に相談するはまきりしない。また「医療従事者、勤務先でワクチン接種を強要される。アナフィラキシーの経験があるため断るも何度も要請される」といった相談もありました。菅総理は「コロナ感染対策が再優先」と言っていますが、これ以上の感染拡大を食い止めるためには言葉だけでなく目に見える本気の対策を講じてほしいものです。

感染急拡大でワクチン接種の相談も
もう一つ特徴的だったのが、第5波の影響で感染爆発が起り、ワクチン接種を自棄していた方々が不安になっていることです。「接種したいが特殊な後息があり副作用の心配もあるため主治医に相談するはまきりしない。また「医療従事者、勤務先でワクチン接種を強要される。アナフィラキシーの経験があるため断るも何度も要請される」といった相談もありました。菅総理は「コロナ感染対策が再優先」と言っていますが、これ以上の感染拡大を食い止めるためには言葉だけでなく目に見える本気の対策を講じてほしいものです。

9/21(火)は生活保護 110番
無料電話相談 10時~17時
093-562-3966
093-562-3967

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL 093-592-5000 FAX 093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

